富山ガラス編プロンプト:「千度の炎と向き合う、わずか一瞬。この手から、光が生まれる。」(31文字)の15秒のショート動画をつくって

※**Gemini Pro**で制作　出来上がったショート動画は下記の内容を**Gemini Pro**に読み込ませ制作したものです

15秒ショート動画(縦型9:16想定)の制作・編集コンテと具体的なアセット構築設計です。

15秒ショートCM設計書:『富山ガラス ― 炎から生まれる光』

1. 全体構成タイムライン(15秒)

秒数	映像・カメラワーク	音声(ナレーション・SE・BGM)	テロップ(文字演出)
0.0～3.5 秒 (3.5秒)	【導入:熱気と緊張感】 薄暗い工房。吹き竿の先でオレンジ色・黄金色に激しく発光する溶解ガラスの超接写(マクロ撮影)。 ※カメラ:わずかに回転しながらゆっくり引き(スロージムアウト)	【SE先行】 ゴオオ…という溶解炉の重低音。 微かな息の吹き込み音。 低音チェロの重厚な単音が静かに響き始める。	(ノンクレジット・炎の迫力を見せる)

3.5～8.0 秒 (4.5秒)	【展開：職人の気魄】 汗光る職人の真剣な横顔と手元。ピンセットや木型で飴状のガラスを素早く成形する一瞬の所作。 ※カメラ：炎の明滅が職人の顔にドラマチックな陰影（サイドライト）を落とす。	【ナレーション（低音・深みのあるトーン）】 「千度の炎と向き合う、わずか一瞬。」 ※力強さと静けさを同居させた語り口。	千度の炎と向き合う、 わずか一瞬。
8.0～12.0 秒 (4秒)	【転換：結晶化する美】 冷え始め、透明度と美しい青/銀の気泡を帯びて光を放つ完成間近のガラス器。自然光が差し込みプリズムがきらめく。	【ナレーション】 「この手から、光が生まれる。」 ※「光が」で息を含ませ、優しく響かせる。	この手から、 光が生まれる。

	※カメラ：光の軌跡を捉えるシネマティックなラックフォーカス。		
12.0〜15.0秒 (3秒)	【余韻・エンディング】 透明なガラス作品の美しい佇まい。光の屈折がテーブルに広がる。 中央にロゴとコピーがフェードイン。	**【BGM＆SE】** 透き通るようなグロッケン/ピアノの高音がキーンと美しく共鳴し、静かに減衰する。	富山、ガラスの街 （ロゴ／ブランドコピー）

2. 各AIツールへの投入プロンプト・設定

① 映像生成（静止画からの動画化：**Runway / Luma / Pika** など）

- カット**1**（炎と溶解ガラス）プロンプト:
-
- Cinematic macro shot of glowing molten glass on a blowpipe, radiating intense golden-orange heat, subtle sparks and heat haze shimmering in a dark studio, slow dramatic camera rotation, 4k resolution, hyper-realistic, photorealistic, 24fps.
-
- カット**2**（職人の手元・成形）プロンプト:
-
- Close-up shot of a glass artist skillfully shaping glowing molten glass with wooden tool, dramatic chiaroscuro lighting, warm furnace glow reflecting on craftsman's intense face, slow motion 60fps style, cinematic depth of field.
-
- カメラ設定: Motion speed: Low (1〜2), Smooth Focus / Slow Pan
-

② 音声合成（**ElevenLabs / VOICEPEAK** など）

- 原稿テキスト:
-
- 千度の炎と向き合う、わずか一瞬。この手から、光が生まれる。
-
- ボイス設定:
-
    - 系統：低音～中音域の深み・説得力のある声（男性ボイスまたは落ち着いたアルト女性ボイス）
    -
    - スタイル・感情：重厚、情熱を秘めた静けさ（Serious / Focused / Warm）
    -
    - スピード：0.88～0.92倍速（3.5秒～11.5秒の約8秒間を使い、句読点でしっかりと「タメ」を作る）
    -

③ 音響演出（**BGM・SE**構成）

- 環境音（**SE**）:
-
    - 「炉の燃焼音（Deep furnace fire rumble）」
    -
    - 「ガラス成形時のジュッという微かな蒸気音（Sizzling steam / craft sound）」
    -
    - 「クリスタルの澄んだ共鳴音（Glass chimes / pristine resonance）」
    -
- **BGM**:「低音ストリングス（チェロ）から始まり、後半に透明感のある高音ピアノ/アンビエントシンセへ移行するシネマティック楽曲」
-

3. 動画編集ソフト（**Canva / PowerDirector / CapCut**等）での組み立て手順

1. キャンバス設定: 9:16（1080×1920） の縦型動画キャンバスを開く。
2.
3. クリップの明暗トランジション:
4.
    - 0～8秒は「暗闇＋暖色の炎」で重厚感を演出。
    -
    - 8秒の「光が生まれる」の瞬間に、光がフワッと広がるようなライトリーク（光漏れエフェクト）またはホワイトフェード（0.5秒）を挟んで「透明な光の世界」へ切り替える。
    -
5. オーディオのメリハリ設計:
6.
    - 冒頭（0～3.5秒）は溶解炉の低音SEを少し大きめ（-12dB）に響かせ、緊張感を出す。
    -
    - ナレーションが入る3.5秒で炉の音を一気に絞り（-22dB）、語りを際立たせる。
    -
    - ラスト（12秒～）は、ガラスが触れ合うような澄んだ高音のキーンという余韻をフェードアウトさせずに残す。
    -

7. テロップ演出:
8.
    - 書体：高級感・クラフト感のある明朝体（例：リュウミン、游明朝、秀英明朝など）。
    -
    - 配置：画面下部にゴールドまたは温かみのあるオフホワイト（不透明度90%）で配置。